

公民科（現代社会）学習指導案（例）

日 時	平成○年○月○日（○）第○校時
学年・組	○○科 ○年○組（○○名）
教 材	教科書名（出版社） 資料名（出版社名）
指 導 者	教諭 ○○ ○○

1 単元 「金融政策と財政政策」

2 単元の目標

政府の役割と財政・租税、金融について理解させ、時事と関連させながら日本銀行の金融政策や政府の行う財政活動についての関心を高めさせる。財政赤字や国債残高、消費税増税の是非等の日本の抱える金融・財政の課題について、幸福、正義、公正の観点も含めて多面的・多角的に追究させることにより、これらの課題が今後の日本や自分たちの将来の生活に及ぼす影響を把握させるとともに、解決に向けての日本の取組について考察させる。

3 単元の指導観

（１）指導観

現代の経済社会の諸事象から、金融のしくみや中央銀行の役割、政府の役割と財政・租税について理解させるとともに、現在の財政の状況から今後の日本や自分たちの将来の生活にどのような影響を与えるか、課題を解決するためにはどのようなことができるかを、幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察させたい。

（２）生徒の実態 【略】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代の経済社会の諸事象について金融や財政に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、金融や財政活動の在り方について考察しようとしている。	現代の諸事象や時事から課題を見だし、政府の経済活動における役割と責任などについて幸福、正義、公正などを用いて多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な視点を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	金融のしくみや財政・租税、国債に関する諸資料を教科書や資料集、新聞等のメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の経済社会における金融のしくみや中央銀行の役割、政府の役割と財政・租税について理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の指導計画（4時間）

次	時	学 習 内 容	評 価 計 画
1	1	1 金融のしくみと働き	【知識・理解】 ・現代の経済社会における金融の意義や役割等について理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・通貨量の増減が経済に与える影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果について適切に表現している。
2	2	2 中央銀行の役割と金融の自由化	【資料活用の技能】 ・直接金融の割合の変化や近年の金融制度や資金の流れについての資料から必要な情報を読み取り、活用している。 【関心・意欲・態度】 ・金融政策の動向や金融の自由化、国際化についての関心を高めて、問題の矛盾点や解決策を考察しようとしている。
3	3	3 政府の役割と財政（政府の経済的役割と財政制度）	【知識・理解】 ・財政政策の意義や役割、財政制度の基礎となる予算や租税の概要について理解し、その知識を身に付けている。 【資料活用の技能】 ・財政制度の基礎となる予算や租税の概要について、資料から必要な情報を読み取り、活用している。

4 (本時)	3 政府の役割と財政 (租税と公債、財政問題と財政危機)	【思考・判断・表現】 ・政府の経済活動における役割と責任などについて、社会の変化を踏まえ、幸福、正義、公正などを用いて多面的、多角的に考察し、適切に表現している。 【関心・意欲・態度】 ・日本の抱える財政上の問題点や今後の日本や自分たちの将来の生活に及ぼす影響に対する関心を高め、解決策を意欲的に追究し、考察しようとしている。
-----------	---------------------------------	--

6 本時の目標（第4時）

- (1) 政府の経済活動における役割と責任などについて、社会の変化を踏まえ、幸福、正義、公正などを用いて意欲的に追究し、多面的・多角的に考察し、適切に表現する。
- (2) 日本の抱える財政上の問題点や今後の日本や自分たちの将来の生活に及ぼす影響に対する関心を高め、解決策を意欲的に追究し、考察する。

7 本時の指導

	学習内容	学 習 活 動 [使用教材等]	指導上の留意点	評 価 [評価方法]
導入 5分	・前時の復習 ・本時の学習内容の紹介	・財政活動のために必要な歳入と歳出の問題点を資料から読み取り、ワークシートに記入する。 [ワークシート]	・前時の学習内容を理解しているか、発問を通してポイントを確認させる。 ・自分の考えを記入するように促す。滞っているときには支援する。	
展開 30分	・班での話し合い 1 歳入を増やす立場 2 歳出を減らす立場 ・発表	・ テーマ 「日本の財政を健全化するにはどうしたらいいのか」について、消費税、景気対策、社会保障制度などの時事問題も含めて、各班がそれぞれの立場で話し合う。 [ワークシート] ・他の班の発表を聞き、違う立場の意見や興味をもった発言をワークシートに記入する。 [ワークシート]	・班を二つの異なる立場に分け、考察させるようにする。 ・適宜、机間指導を行い、話し合いが滞っている班を支援する。 ・各班の代表者に発表させ他の班の意見や興味をもったことをワークシートにまとめるよう促す。	【思考・判断・表現】 ・政府の経済活動における役割と責任などについて、社会の変化を踏まえ、幸福、正義、公正などを用いて多面的、多角的に考察し、適切に表現している。 [発表、ワークシート]
まとめ 15分	・本時の学習のまとめ	・話し合いや発表を踏まえて、財政を健全化するために、政府や企業、個人（家計）が行うべきことについて、自分の考えをワークシートに記入する。 [ワークシート]	・机間指導を行い、ワークシートに自分の考えが書けているか確認する。 ・数名に記入した内容を発表させる。 ・ワークシートを提出させる。	【関心・意欲・態度】 ・日本の抱える財政上の問題点や今後の日本や自分たちの将来の生活に及ぼす影響に対する関心を高め、解決策を意欲的に追究し、考察しようとしている。 [観察、ワークシート]